

藤女子大学進学説明会 説明会（文化総合学科）

2023/6/10 14:30~15:30

司会進行 真鶴 俊喜

説明会の内容

- ▶ 1. 学科説明—文化総合学科の入試の種類
- ▶ 2. 総合型入試について

○総合型入試とは

○総合型入試昨年度受験生によるプレゼンテーションと受験経験に基づく注意点等の紹介

☆この後、15：40からこの教室で「相談会」（個別の相談に応じます）を開きますので、説明会で話されなかったことなどについても、お気軽にご相談ください。

1. 学科説明—文化総合学科の入試

(1) 種類

- ▶ **総合型選抜入学試験** 2023年10月21日 (土)
- ▶ **学校推薦型選抜入学試験** 2023年11月18日 (土)
- ▶ **一般選抜入学試験 (A日程)** (3科目) 2024年2月13日 (火)
(2科目) 2024年2月14日 (水)
- ▶ **大学入学共通テスト利用入学試験 (A日程)**
- ▶ **大学入学共通テスト利用入学試験 (B日程)**

(2) 年内の入試について

○学校推薦型選抜入学試験

- ▶ 試験日 2023年11月18日 (土)
- ▶ 出願期間 2023年11月1日 (水) ~11月8日 (水)
- ▶ 合格者発表日 2023年12月1日 (金) 10:00
- ▶ 入学手続期間 2023年12月4日 (月) ~12月11日 (月)
- ▶ **募集人数** 25名以内 (1校よりの人数制限なし)
- ▶ **出願資格** 高等学校の全体の学習成績の状況 (全体の評定平均値) が3.6以上の者。
- ▶ または別表1 (英検等) のいずれかの資格を有する者。

- ▶ **選考方法** 基礎学力試験・面接・大学入学希望理由書・調査書によって合格者を決定します。
- ▶ **基礎学力試験** 日本語および英語の基礎学力を問います。

出題形式は過去問（受付で配布中）を参照

秋のオープンキャンパス（9月16日）で、文化総合学科では学校推薦の基礎学力試験の出題傾向に関する解説を行なう予定なので、受験を希望する方は参加がお勧め❌

※ 予告 夏・秋のオープンキャンパス について

参加申込期間 6/10
日（土）～7/18
（火）。HPより。

▶ 7月23日（日） 夏のオープンキャンパス（文学部）

- ・午前と午後の2部制
- ・学科紹介（午前、午後共通）のほか、
- ・午前は石井佑可子（心理学）、午後は平井上総（日本史）各教員による授業体験、
- ・当大学キャリア支援担当職員による「キャリア紹介」（午前、午後共通）

が予定されています。

そのほか、学科学生や教員によるミニ相談コーナーも並行して開かれます。

▶ 8月4日（金） ナイトオープンキャンパス

- ・保護者やOG向けを想定。

▶ 9月16日（土） 秋のオープンキャンパス（文学部）

- ・学校推薦の基礎学力試験に関する解説を行なう予定。

2. 総合型入試について

○総合型入試とは

- ▶ 試験日 2023年10月21日（土）
- ▶ 出願期間 2023年 9月29日（金）～10月5日（木）
- ▶ 合格者発表日 2023年11月 1日（水） 10：00
- ▶ 入学手続期間 2023年11月24日（金）～11月30日（木）

年内の入試ではもっとも早く行なわれる入試

▶ **募集人員** 8名

▶ **選考方法** アドミッション・ポリシーに基づいて、大学入学希望理由書、調査書、課題レポート、プレゼンテーション、面接によって総合的に評価し、合格者を決定します。

学校推薦と比べ、学力試験が無い代わりに、課題レポートの提出とプレゼンテーションが含まれる

- ▶ **特徴** 人文・社会科学に関するテーマを自ら設定し、そのテーマについてどの程度積極的に探究・表現できているかを評価の基準とする。

自分でテーマを考えてそれについて調べ（＝課題レポート）、その内容を面接の場で表現する（＝プレゼンテーション）ことが中心

興味を持っていることを主体的に深く調べる姿勢が大事

○総合型入試昨年度受験生によるプレゼンテーションと受験経験に基づく注意点等の紹介

☆ 総合型入試の課題レポート・プレゼンテーションについて

① 課題レポート

文化総合学科では、探究の成果を報告してもらいます（1200字程度）。

- ▶ 社会科系の高校教科書（「世界史」「日本史」「地理」「現代社会」「倫理」「政治・経済」）の記述の中から、キーワードとなる用語を自分で一つ選んでください。

大学側からキーワードを提示するのではなく、
受験生が自分の好きな教科の教科書の中から
キーワードを自分で選ぶのがポイント

- ▶ その上で、そのキーワードにまつわる要因や影響の調査、評価や解決策の提示といった、自分の問題関心にもとづく探求の成果をまとめて下さい。
- ▶ 例えば・・・
 - 「生類憐みの令はなぜ出されたのか」
 - 「表現の自由はどこまで保障されるのか」
 - 「国際協調を取らない他国に対して日本はどう向き合うべきか」など

これらはいくまで一例。

- ▶ 執筆に際しては、インターネットの情報だけではなく関連する書籍を必ず参照し、
- ▶ 引用を用いる場合は適切な仕方で行い、引用元や参考にした文献の出典を必ず表記してください。
- ▶ 図表の貼り付け使用も許可します。

テーマを決めたら、そのテーマに関連する教科書以外の書籍も読んで、その内容を課題レポートに反映。

その書籍は、たとえば教科書の副読本のようなものでもいいし、そのテーマに関する新書や、新聞記事などでもいい。

参考：テーマの例

▶ 【地理の一例】

- 「海洋環境の保全のために、どのような取り組みが求められるだろうか」
- 「日本が必要な食料を確保するためには、どのような食料供給の仕組みをつくればよいか」
- 「日本の農地を有効に利用し、農業の後継者を育成して、非常時に最低限の食料を自給できるような農業を存続させるためにはどうしたらよいか」
- 「日本の過疎地を活性化するにはどうしたらよいか」

▶ 【倫理の一例】

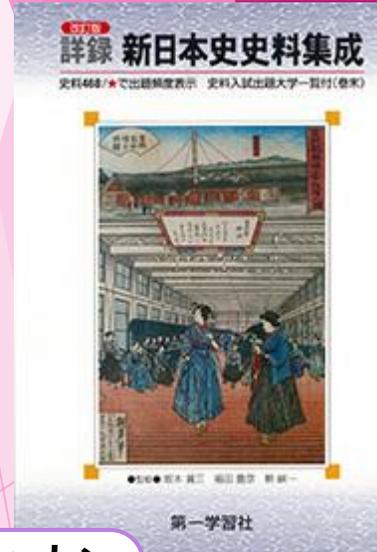
- 「心の理性的な働きと、それ以外の心の働きとの関係について考えを述べよ」
- 「あなたは人間をどのような存在ととらえているか、考えを述べなさい」
- 「現実社会で正義が実現されるためには、どのようなことが重要であると考えるか」
- 「『わたしたちが時間の主人なのか、時間がわたしたちの主人なのか』というテーマで考えを述べなさい」

▶ 課題レポートの具体的な例

たとえば、「生類憐みの令はなぜ出されたのか」をテーマとして選んだとする。

課題レポートでは自ら調べることが重要であり、そのため教科書とネット以外の文献を参照することが必要。まずは高校の副教材の『改訂版 詳録新日本史史料集成』（第一学習社、2017年）から、「生類憐れみの令」の条文とその解説を参照してみた。

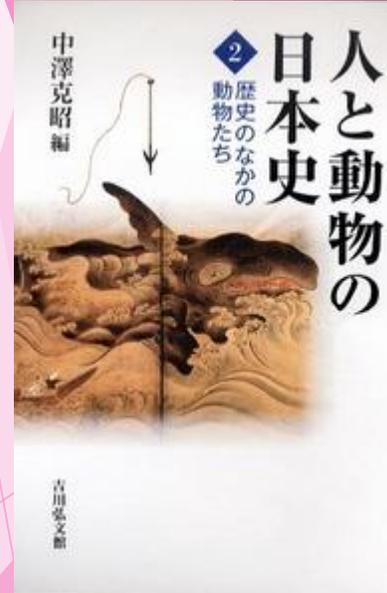
こうした、授業の副教材を使うのも一つの手。自分で持っていなくても、図書室にあったり先生が持っていたりするのでは。



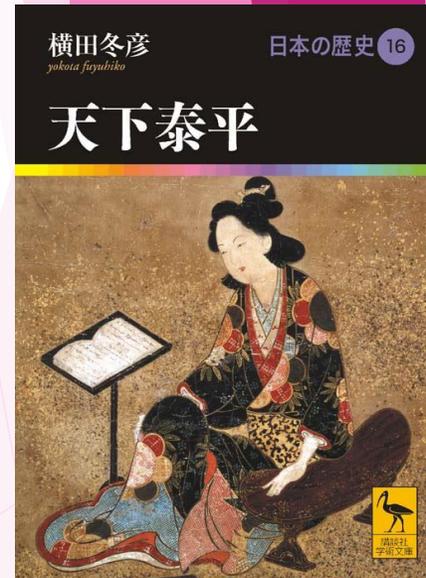
さらに情報を求め、「生類憐れみ」を北海道立図書館のサイトで検索すると、『人と動物の日本史 2 歴史のなかの動物たち』（吉川弘文館、2009年）という本が検索に引っかかった。

この本の中に岡崎寛徳氏が「生類憐れみの令とその後」という文を書いているので、これを借りて参照しながら課題レポートを執筆した。

教科書や副教材から一歩踏み出して、研究者が書いた書籍を参照すると、より深い探究が可能になる。



- ▶ なお、図書館のサイトでキーワードを検索しただけで色々な本が見つかるので便利だが、
 - ・書かれている内容が自分の選んだテーマに合致しているかどうかはわからないので借りる前に目を通してみる
 - ・検索に引っかからなかった本の中に自分の選んだテーマに関する内容が書かれていることもかなり多い
- という点は注意。後者については、たとえば生類憐れみの令を徳川綱吉が出したという教科書レベルの知識があれば、「綱吉に関する本や、『日本の歴史』の17世紀末を扱った巻を読んでみよう」と繋げて考えることができる。



- ▶ ネットの情報だけを参考にしてはいけない理由は、ネット上の情報はかなりいい加減なものも多く、それを鵜呑みにすることでクオリティが低くなることが想定されるから。
- ▶ ただ、出版された書籍にも、かなり怪しいものもある。
- ▶ 自分で見つけた本が妥当かどうか、高校の教員と相談してみてはどうだろうか。

たとえば日本史で「~~の真実」とタイトルにある本はそこそこ高い確率でいい加減な内容

② プレゼンテーション

- ▶ 総合型入試の当日は、受験生一人一人個別に30分程度時間を取り、
- ▶ 最初に課題レポートに基づいてプレゼンテーションをしてもらいます（10分程度）。
- ▶ その後、面接では、プレゼンテーション、調査書、大学入学希望理由書、課題レポートに関する内容などを確認します（20分程度）。

☆プレゼン後の面接（20分）では、プレゼンテーション&活動報告書に関連する質問のほか、調査書や大学入学希望理由書についても質問する（どんなことを学びたいですか？など）ので、一般的な面接の対策もしておくといい。

- ▶ プレゼンテーションの方法は自由。今は高校でパワーポイントの扱い方を習っていることも多いと思うので、パワーポイントで作ってみるといいかもしれない。
- ▶ 大きなポスターを作り、それをもとにプレゼンしてもよい。
- ▶ パワポ等でプレゼンする場合、当日はデータを持参することを忘れずに。パソコンは持ち込んでもいいし、Windowsパソコンであれば大学のものを使用することもできる。
- ▶ 特殊な機材を用いる場合などは、事前に入試課に問い合わせを。

- ▶ 課題レポートに書いた探究の成果を、わかりやすくプレゼンすることを心がける。
- ▶ 表や概念図を使ったりして、ビジュアル的に伝わりやすいものを作ってみてはどうだろうか。
- ▶ なお、プレゼンの持ち時間は10分なので、読み原稿を作って、事前のリハーサルをしておくとうよさそう。